



事務所 伊那市西町5016-2 Tel(72)0077 例会日 毎週木曜日 例会場 くぬぎの杜 Tel(78)1121
 会長 立石 誠 幹事 平出吉範 会報委員長 宮下金俊 第2819回例会 2018.4.5 No.1481



ロータリー:
変化をもたらす

2017-18年度RIテーマ

ROTARY :
MAKING A
DIFFERENCE

ソング 君が代 奉仕の理想

四つのテスト 唐木 章会員

会長談話 3月17日のタカト

オコヒガンザクラ植樹例会には大勢の会員にご出席いただきありがとうございました。また、3月24日、25日の尾張旭RCとの合同例会、ゴルフコンペには遠方までご参加くださり、大変ご苦労様でした。ゴルフ大会は、多治見カントリークラブで行われ、晴天のゴルフ日和でした。慣れないコースで難しいグリーンに苦戦している様子でした。団体戦で優勝する事ができました。

1985年5月18日に姉妹提携しています。提携してから33年目になります。また、ゴルフクラブの交流はその9年程前から行われていたようです。優勝回数は伊那RCが48回、尾張旭RCが27回のように。例会での懇親会は大変盛り上がり、その後二次会、三次会と朝夕3時頃まで交流を深めて楽しんでまいりました。

誕生祝 橋爪利行・宮下 裕・向山賢悟

結婚記念日祝 神山公秀・熊谷勝昌
・清水紀光・小河節郎・松崎敏彦・矢島 勇・本田敏和



在籍祝 神山公秀(37)・平澤泰斗(14)・矢島 勇(2)・波多江崇史(2)・小河節郎(1)



幹事報告 別紙をご覧ください。

理事会報告 1. 4月の行事予定承認
2. 塚越寛会員渋沢栄一賞受賞祝賀会および観桜会の承認 3. 2018-19年度地区補助金申請事業の承認

委員会報告

○ 2018-19年度地区補助金申請事業について
清水紀光会長エレクト

今年度50万円の予算で地区から30万円の補助金を頂きました。次年度は30万円の予算に対して、半分以下の10万円しか頂けそうにありません。事業は上伊那から甲子園を目指せるように、野球人口を増やすための底辺拡大に繋げるためのイベント開催です。会員の皆様には野球で子供たちの遊び相手をしたり、会場準備や設営、メディカルサポートをお願いしたいと思います。

○ 4月号「ロータリーの友」紹介 橋爪利行副会長
(代読 平出吉範幹事)

横組み P8~11 インドにおけるポリオワクチン投与活動に参加して。

P12~17 特集メークアップのすすめ。

P18 RI2600地区ガバナー関邦則氏のガバナーのロータリーモーメント。

P24~25 GO熊本!そして友好の輪へ!熊本地震復興支援活動の紹介。

P27~29 (公財)ロータリー米山記念奨学会設立50周年記念式典の様子。

縦組み P4~8 ダウン症の娘と共に生きてRI第2690地区 地区大会記念講演要旨「闇の中には光がある」講演の結びの言葉が印象的。

P18 卓話の泉1 ピュア代表宮内ゆり子氏の司会のワンポイント 魅力的トークのヒント有り。

P21 柳壇辰野RC河手欣哉会員 続かない助走に力入れすぎた。



出席報告 会員数 56 名 内出席免除 20 名
長欠 1 名 出席者 34 名 事前メーキャップ 0 名
出席率 75.55% 前々回 100% 変更なし。

ニコニコボックス

立石 誠 尾張旭 RC 合同例会参加ありがとうございます。
合同ゴルフ大会優勝おめでとうございます。
ございました。

神山公秀 明日より 11 日までかんてんぱぱホールで「趣味の 5 人展」を開催します。塚越、熊谷会員と私が出品していますので是非お越しください。

波多江崇史・小林旬子 先日の植樹祭はお疲れ様でした。お陰様で孫、娘が立石会長と共に新聞の写真に掲載されました。

本田敏和 4/1 より 1 年間伊那商工会議所青年部部長を務めさせていただきます。皆様には色々とお世話になりますが、宜しくお願い致します。

矢島 勇 末っ子が大学を卒業し、ようやく社会人となりました。子供 3 人への仕送りが終わりホッとしています。

ゴルフ部伊那・尾張旭 RC 合同コンペ団体戦優勝
松崎敏彦・本田敏和・中山一郎・下枝正一・藤澤秀敬

伊那 RC 入賞 中山一郎・本田敏和・橋爪利行・下枝正一・酒向邦明

在籍祝 神山公秀・平澤泰斗・小河節郎・矢島勇・波多江崇史・唐木 章 (3 月)

ラッキー賞 荒木康雄・増田 清・中山一郎・小坂栄一・宮下 裕・原田和愛・本田敏和



会員卓話 増田 清会員

演題「フィリピンセブ島に工場進出した当時と現在の違い」

フィリピンセブ島に作った会社「イナ マイクロオプト コーポレーション」について説明をしたいと思います。通称 IMO と呼んでいます。IMO は 2000 年に親工場の要請もあって 3 社共同で設立をする事になりました。前の年に親工場の工場長に誘われて、初めてセブ島へ行きました。すごく感動しましたし、知人が工場の進出をしたり、日本企業がかった事に大変



驚きました。その 1 ヶ月後には、「腹が決まったかな」と本気とも冗談とも言える聞き取りがあり、我々 3 社でセブ島に進出する事になりました。

1999 年インフラ及び適当な設立場所調査

工場を建てるために現地に精通した日本人コンサルタントを選定し、会社設立のために全ての相談者、指導者、弁護士を決め、建設場所が決まったら、建築会社選定、工場構想、設計依頼、建築申請、ワーカーの採用準備、事務所、ワーカーを指導する場所などを探す等、このような事は誰でも出来る訳ではなく、我々では言葉も現地の状況も全然わからないので、現地を精通した人、全てを任せられる人本当に信頼出来る人、現地で工場設立経験者で、現在リタイヤして一緒に行動してもらえる人を紹介され、いよいよ本格的に始動することになりました。

1999 年 8 月 3 社によるキックオフミーティング

を行い、社名はイナマイクロオプトコーポレーションとしました。工場敷地を第二メプサに役 3000 坪確保でき決定をした。事務所もなく、ホテルのロビーなどを事務所代わりに使っていたが、日本の企業で空きスペースを貸してくれる所が見つかり、事務所を開設して、それ以来 3 人で月に 1~2 回通いました。ワーカーの採用面接、教育方法など検討し、3 社で各々 2 名の指導者を送り込むように決めたが、中々決まらず苦労しました。指導者として技術者を長期に海外に赴任させるという事がどの位大変かを思い知りました。いよいよ資金について。どのくらいの規模にするか、親工場の希望もあり、数 10 回会合を持ち決めました。2000 年 1 月マニラにてフィリピン政府と全ての計画書、申請手続きを行い、調印式を行い、第一歩を踏み出し、2 月に地鎮祭をし、工場着手した。8 月に一部工場が完成したので設備を運び込み作業を開始した。

第 1 期生の指導は、6 ヶ月間は我々 3 人で 1 日も空けずに交代で基礎から指導をした。半年間大変でした。言葉では言い表せない苦労でした。現在は 200 名余のワーカーで、日本人 2 名で運営を行っています。ちなみに 1 期生は全員辞めずに、マネージャーとして残っています。以来 18 年になります。18 年間に情勢が変わり色々な事がありました。決められた単価だけでなく、為替が大きく影響するため、赤字になったり黒字になったり、海外で利益を出すのは非常に難しい。仕事の内容も少し変わり、3 社の情勢も変わり、今まで 3 社でやっていましたが、今後当社のみで経営することで決まり、最終的な契約をする段階になった。